

セッション3

相談支援体制の確立

地域への周知から始まる連携

諏訪赤十字病院
がん相談支援センター
橋爪 睦



がん相談支援センターが地域に向けて担う役割

情報発信

相談連携



まず、がん相談支援センターの存在を知ってもらうことが必要

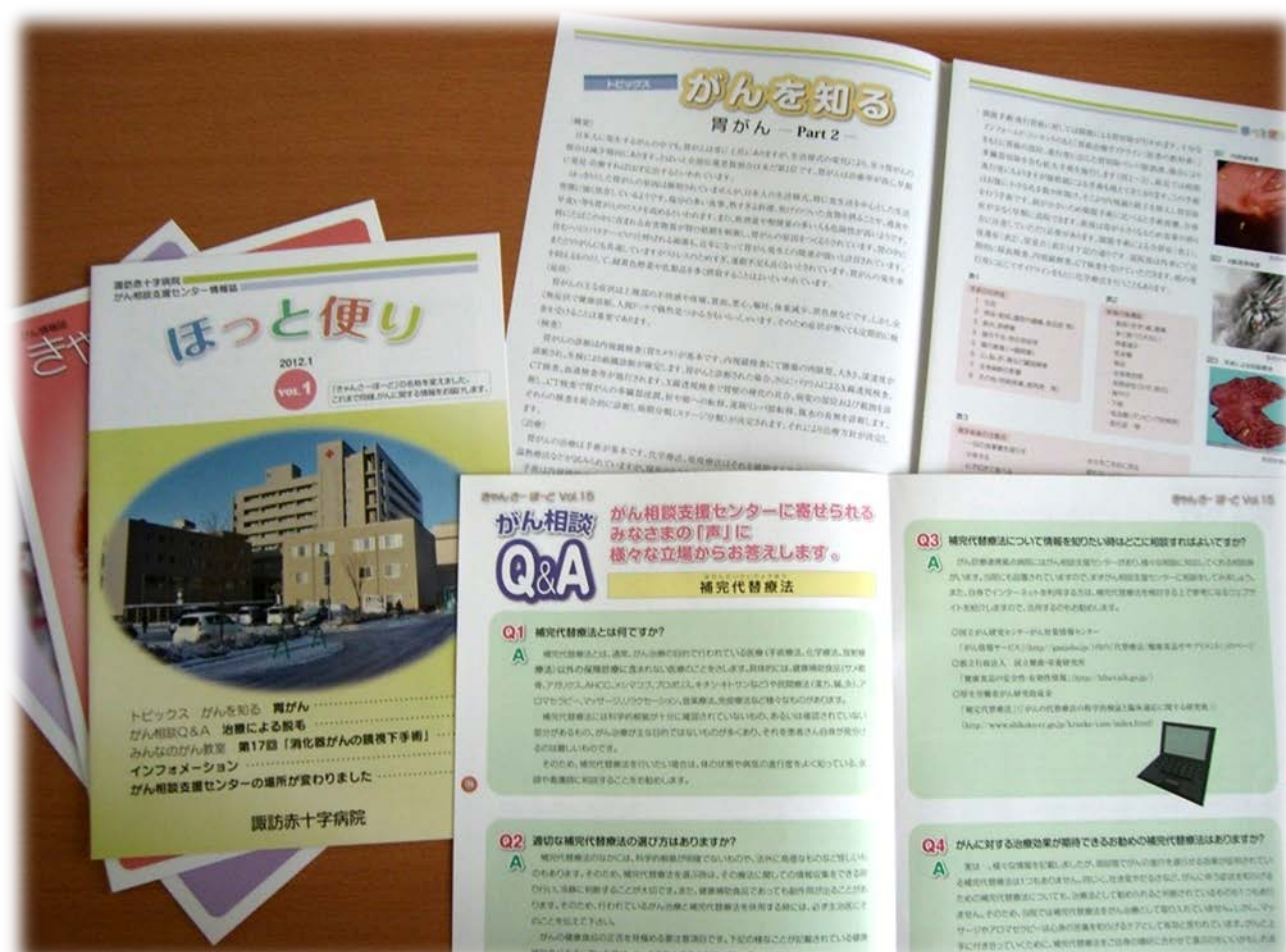
2008年～当センターによるがん情報誌を、 一般、地域に向けて、年4回通算22号発行

〈地域機関送付先〉

医院・診療所	153
歯科医院	26
病院	27
訪問看護ステーション	9
老健施設	9
居宅介護支援事業所	52
医師会・歯科医師会	6
薬剤師会	2
看護・福祉大学校	2
行政	20

市町村役場、消防署、
保健所、地域包括支
援センター

計 307施設



情報発信

2008年～当センターによるがん情報誌を、
一般、地域に向けて、年4回通算22号発行



〈地域機関送付先〉

医院・診療所	153
歯科医院	26
病院	27
訪問看護ステーション	9
老健施設	9
居宅介護支援事業所	52
医師会・歯科医師会	6
薬剤師会	2
看護・福祉大学校	2
行政	20

市町村役場、消防署、
保健所、地域包括支
援センター

計 307施設

裏表紙に
相談支援センター
の案内を記載

2012年、地域機関に向けたがん情報誌に関するアンケート調査を実施

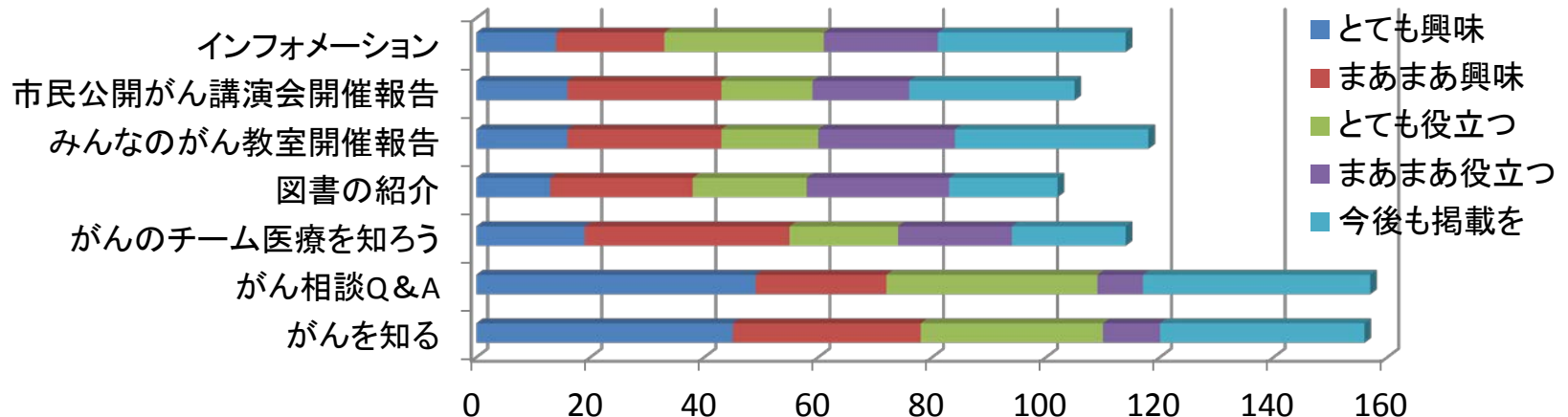
がん情報誌の評価、地域の情報に関するニーズを知る

がん相談支援センターの利用、認知度を知る

- 写真やイラストなど使われており理解しやすい。がんについての知識がない人でも内容が理解できる
- 職場で回覧している。癌を身近に感じ、勉強できるいい情報だと感じる
- 毎回楽しみにしている
- 医学情報交換がケアマネでは少ないため、勉強になっている
- センターを身近に感じることができ、相談しやすくなると思う

アンケート内容

- 読みやすいか？
- わかりやすいか？
- 情報量は？
- 各記事の関心度、役立ち度は？



2012年、地域機関に向けたがん情報誌に関するアンケート調査を実施

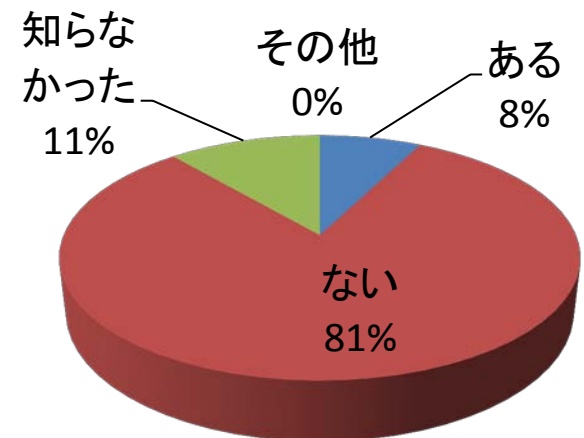
がん情報誌の評価、地域の情報に関するニーズを知る

がん相談支援センターの利用、認知度を知る

- 対象になる患者（症例）がない
- 知っていたが利用していない
- どのように相談してよいかわからなかった
- 癌の経過観察、緩和ケアの相談窓口、在宅での対応などが、今後課題になるように思う
- 諏訪地方では大きな病院なので、ぜひ新しい情報をいち早く出して欲しい
- 窓口があることは相談しやすく良いと思う

アンケート内容

- がん相談支援センターの利用度、認知度は？



がんと診断された患者さんに

各診察室にリニューアルした名刺サイズの「利用案内」を設置。がんと診断された患者さんに医師から渡し、がん相談支援センターの存在を知ってもらう仕組みをつくりました。



あなたの悩みを一緒に考えます

- がんの治療や症状について
- 医師や家族とのコミュニケーションについて
- 医療費、生活費、社会保障制度について
- 介護について
- ホスピス、緩和ケアについて

など、どんなことでもご相談ください。

受付時間 平日 午前9時～午後4時
※相談対応時間は午後5時まで

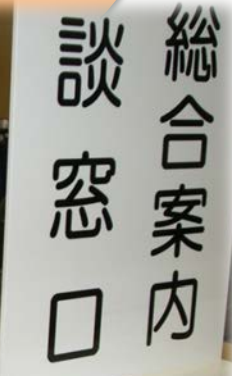
場 所 新棟1階 がん相談支援センター

相談方法 面談または電話 **0266-57-7502**

料 金 無 料

担当相談員は _____ です

外来診察室の机の上に



院内各所に

がん相談支援センターの充実

当事者同士が語り合え、情報が得られる
ピアサポートルームの開設

ネット検索できるパソコン
がんに関する図書や冊子の
閲覧
DVDの視聴 など

当事者同士が語り合え、情報が得られる ピアサポートルームの開設



患者・家族のミニがん教室

月1回の身近な勉強会



「みんなのがん教室」参加者の声を受けて 開催を始めたミニ教室

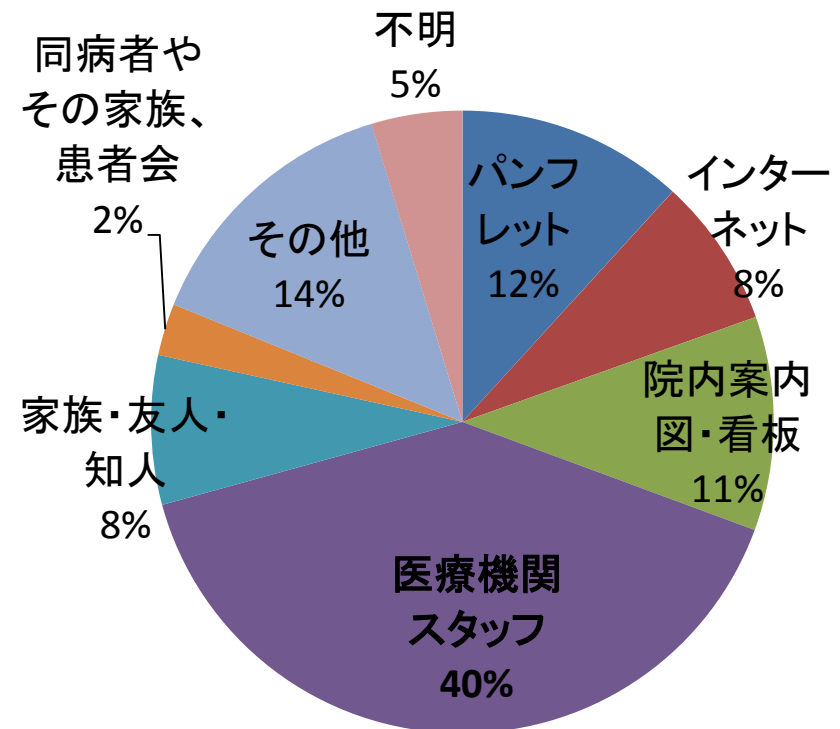


地域の方にも講師をお願いしています

ミニがん教室開催内容

	テーマ	参加者
1回	食事について	19
2回	副作用による脱毛の「頭皮・頭髪ケア」	22
3回	補完代替療法「サプリメント」	16
4回	社会保障制度パート1	14
5回	ストレス解消について	13
6回	がん治療・療養中の口のトラブル	8
7回	若石健康法 ～気の流れをよくする～	20
8回	排便について	15
9回	腫瘍マーカーについて	23
10回	社会保障制度パート2「介護保険」	15
11回	放射線治療について	20
12回	医師が求める患者とのコミュニケーション	29
13回	痛みと上手につき合うために	16
14回	抗がん剤の理解のために	29
15回	食事と治療について	17

患者さん・ご家族にとっての 相談支援センター情報入手経路



情報発信

相談連携

諏訪地域緩和ケア事例検討会



諏訪地域緩和ケア連絡会



通算12回, 毎回50~100名の方が参加されます

地域の医療・福祉関係者は、相談連携をとっていく方々であると同時に、情報を求めている相談者でもある
当センターとしては、まず存在を知ってもらうこと、そして“顔の見える関係作り”を続けることが大切